

4 研究フィールドは全世界！ —世界で活躍する教員—

石坂 哲宏 助教

アメリカ
(カリフォルニア州)

自動車燃費改善技術の導入効果の推計+エコドライブ、ハイブリッドカー（HV）など燃費改善技術の全米での普及がどの程度、環境改善に寄与するのかを推計しています。また、同様の技術を東南アジアに展開しています。



小早川 悟 教授

イギリス

リーズ大学にあるITS (Institute of Transport Study: 交通研究所) に1年間滞在しました。また、ロンドンで導入されているCongestion Charge (混雑課金) 制度、およびノッティンガムで導入予定されていたWorkplace Parking Levy (職場駐車課金) 制度についての調査研究を行いました。



川崎 智也 助教

ウズベキスタン ほか

内陸国である中央アジアのウズベキスタン、カザフスタン、キルギスにおいて現地のフォワーダー協会や政府機関、物流業者へのインタビュー調査などを通して貨物輸送実態調査を実施しました。



安井 一彦 准教授

韓国
(ソウル)

韓国交通研究院（韓国政府所管）と、ソウル研究院（ソウル特別市所管）と共同で、道路交通の円滑化と安全対策の支援を行っています。2012年度は「日本と韓国の交通事故発生状況について」分析を行い、韓国の交通事故の実態と必要な交通安全対策について、提言を行いました。



岩井 茂雄 教授

フィリピン

熱帯から亜熱帯地域の多くの国では、ラテライト土（紅土）という土を用いて道路が作られています。水に弱い土であるため、雨期には多くの道路が壊れます。そこでフィリピンの大学の方々に、この土がよりよい道路材料になるようアドバイスをしてきました。



伊東 英幸 助教

アメリカ
(カリフォルニア州、ミネソタ州)

環境との共生を目指した道路整備事業や戦略的環境アセスメント、生物多様性保全に関する研究を行っています。

コスタリカ

コスタリカのエコツーリズムや生態系サービスへの支払制度（PES）に関する研究を実施しています。



江守 央 助教

フィンランド
(ヘルシンキ)

研究者派遣として、北欧デザインのユニバーサルデザイン対応を研究しています。北欧のまちには機能的で美しく、楽しい「しかけ」がいっぱい！日本にも応用できるものがあるかな？こんな視点で研究を行っています。



ヨルダン
(アンマン)

JICA 専門家派遣として、まちづくり・バリアフリー向上への取り組みを行っています。日本のバリアフリーやユニバーサルデザインの技術や考え方を、よりよい国づくり・まちづくりに活用しています。



福田 敦 教授

タイ(バンコク) ほか

1989年から2年間、アジア工科大学助教授（JICA 専門家）として、アジア30カ国の学生に英語で講義・研究指導を行いました。最近では、アジアを対象に地下鉄などの導入による温室効果ガス削減に関する多くのプロジェクトで委員長などを務めています。ほかにも各国でいろいろなプロジェクトを行っています。（タイ：コンケン、チェンマイ ラオス：ピエンチャン ベトナム：ハノイ バングラディシュ：ダッカ コスタリカ：サンホセ など）

本学科はさまざまな大学と学術交流に関する覚書を締結し、共同研究の実施や国際的な人材の育成を目指しています。

学科が独自に学術交流を実施している大学

- カリフォルニア大学（アメリカ）
- 京畿大学（韓国）
- 交通技術大学（ベトナム）
- 交通通信大学（ベトナム）
- チュラロンコン大学（タイ）
- デ・ラ・サール大学（フィリピン）